



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

上場会社名 株式会社 加藤製作所  
代表者 代表取締役社長 加藤 公康  
(コード番号 6390)  
問合せ先責任者 取締役執行役員財務統括部長 小西 二郎  
(TEL 03-3458-1130)

## 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び 剰余金の配当に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 30 年 5 月 14 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は平成 30 年 6 月 28 日に開催を予定しております第 119 回定時株主総会に付議する予定であります。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 83,300	百万円 1,100	百万円 1,200	百万円 1,800	円 銭 153.61
今回実績(B)	86,974	2,143	2,433	3,033	258.91
増減額(B-A)	3,674	1,043	1,233	1,233	
増減率(%)	4.4	94.8	102.8	68.5	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	75,438	2,556	2,479	8,166	696.85

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、東日本大震災の復旧・復興に関連した需要が急速に減少してきており、また排出ガス規制による反動減等により減少するものと予想しておりましたが、国内においては建設用クレーンの売上高が想定を上回りました。海外においては中国のインフラ工事の増加により需要が回復し油圧ショベル等の売上が増加し、当初の想定を上回りました。

利益につきましては、売上高の減少による利益の減少を想定しておりましたが、売上の増加により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表の予想値を上回る結果となりました。

### 3. 剰余金の配当について

#### ① 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 30 年 2 月 9 日発表)	前期実績 (平成 29 年 3 月期)
基準日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たりの配当金	32 円 50 銭	17 円 50 銭	47 円 50 銭
配当金総額	380 百万円	—	556 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 29 日	—	平成 29 年 6 月 30 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### ② 理由

当社は、安定配当を基本としながら、企業体質の強化を図るため、内部留保に留意しつつ、経営環境や収益状況等を勘案したうえで配当を決定しております。

平成 30 年 2 月 9 日の業績修正に伴い、平成 30 年 3 月期の 1 株当たりの期末配当金を 17 円 50 銭に修正いたしましたが、既述の業績予想数値と実績値との差異を踏まえ、株主還元と今後の事業展開を勘案し、期末配当金を 32 円 50 銭といたします。

これにより、中間配当金 47 円 50 銭と合わせ、年間配当金は、1 株当たり 80 円となる予定です。

以上